

実施概要及び成果

【実施概要】

・京都議定書誕生の地・京都において、同議定書発効20周年、創設15年の節目となる令和7年に「KYOTO地球環境の殿堂」について、万博を機にスペシャルバージョンとして取組を実施

- 国際会議 ▶ 歴代の殿堂入り者等が「気候変動」や「生物・文化多様性」のテーマごとに議論
▶ 万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に通じる人と地球の未来のあるべき姿について宣言
- 未来会議 ▶ 国内外の高校生・大学生等が、自然環境と京都文化との関係について3つのワークショップを通じて探究
※ワークショップ：「古来文学」探究プロジェクト、「伝統産業」探究プロジェクト、「森里海」探究プロジェクト

【実施成果】

- ・国際会議・未来会議 当日来場者数：1,100人。未来会議 参加学生数：106名（高校生42名、専門学校生1名、大学生：63名）
- ・環境先進地・京都を世界に向け発信するとともに、未来を担う若者が、探究活動を通じて地球の環境保全への理解を深めた。
- ・参加者が探究を通じて得た学びや気づきを基に、教材を作成し府内高校へ配布することで、実際に体験していない若者にも学びの機会を提供した。

実施主体

KYOTO地球環境の殿堂運営協議会

【問い合わせ窓口】KYOTO地球環境の殿堂運営協議会

（事務局：京都府脱炭素社会推進課・京都市地球温暖化対策室）

実施場所

国際会議：国立京都国際会館
未来会議：府内各所

実施時期

国際会議：令和7年9月20日（土）
未来会議：令和7年4～9月

関連HP

<https://www.pref.kyoto.jp/earth-kyoto/>

その他

—



国際会議



未来会議（探究プロジェクト）

万博後の取組

- ① 次世代を担う若者の探究心を育み、未来の環境リーダー育成に資する取組が求められている。
- ② 今後の殿堂事業において、「未来への宣言」をレガシーとして引き継ぎ、若者が文化と多様な自然の共存・調和について探究・発表する機会を継続。